

事業所名		放課後等デイサービス ロボコンよなばる				支援プログラム		作成日		7 年		3 月		10 日	
法人（事業所）理念		すべての子どもたちへわくわくする未来を													
支援方針		○一人ひとりの個性に合わせた支援の提供、○安心して過ごせる生活の提供と、五感を通じてさまざまな体験の提供、○ご家族との連携を図り共に児の成長を見守ります。※以上をもとに個別支援計画を作成し、以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っていきます。													
営業時間		9 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	【生活リズム】毎回のセッション開始時に体温や食事・体調状況について確認。生活リズムと体調とのつながりを意識できるように、日々のやり取りの中でお伝え。普段運動のすくない生徒は散歩や公園での遊びで解消できるように本人と楽しみながら調整。 【精神面の安定】学校のこと、家族のこと、恋愛のことなど、家族や友達には話しく思春期ならではの悩みを信頼できるスタッフに相談可能。スタッフと一緒に状況を整理し、解決策の見通しを持つことで、精神面の安定を図り、二次障害の予防につなげます。													
	運動・感覚	【読み書き】 お子様の読み書きの状況に合わせ、 ICTツールや便利グッズを提案し、お子様にあった学習法身に着けるサポート行います。 【感覚・姿勢】 長時間じっとしているのが難しい、といった感覚過敏に関連する困りごとについて、自分自身も理解し、周りへの助けを求められる方法を児童ごとに提案し行動できるように支援します													
	認知・行動	【提出物管理】学校の提出課題の把握、完成までのスモールステップの組み立て、提出までの計画立てをスタッフと一緒に整理。リマインド機能の活用含め時間管理の仕方など、実際の取り組みのサポートも行います。 【集中／物の管理】作業場所選びや机上の整理整頓、小まめな休憩設定など、自身が課題に集中しやすい環境を把握することをサポート。ご家庭や学校での主体的な環境調整につなげていきます。また、PCなどを利用したプログラミングやロボットキットによるロボット作成で長時間の集中力を身につける活動もあります。													
	言語コミュニケーション	【仲間づくり】 活動では、運動やゲーム・謎解きなどを通して、テーマを決めて同じ興味関心のある仲間との機会を提供します。またその中で、同年代や異性との距離感や適切な言葉選び等についても学ぶことが可能です。 【質問相談】 日々の関わりの中で、質問や相談をする機会を多く設けています。どのタイミングで声をかけるといいか、どのように困りごとを伝えるとわかりやすいか、といった他者視点にも触れながら、上手に他人を頼る力を身につけます。													
	人間関係社会性	集団の中での生活を通して、集団のルールや行動を学ぶ経験になる。 多種の特性を持つ子の集団内での生活を通して、他児の特性による被害を受けてしまう場面も多く、その時に相手の特性であることを理解し受け止めてもらう経験を通して、人と関わることで自分を知ることとなり、多くの人との関係作りを行うようになる。													
家族支援		事業所での支援をご家族と共有することで、よりよい支援に繋がっていけるよう心掛けています。SNSを利用して児の様子を共有しています。ご家族参加型の行事を行っております。						移行支援		学校・相談事業所との連携を行い、児童のライフステージの変化に合わせた支援を行っています。					
地域支援・地域連携		地域の行事に参加、同地域の施設間交流等、管轄地区である消防との連携						職員の質の向上		職員研修（実施）、外部研修・勉強会（推奨）行事企画立案・実施					
主な行事等		令和7年行事予定 1月：初詣・餅つき大会 4月：目標づくり 7～8月：夏祭り・プール遊び 10月：ハロウィン 12月：クリスマス会													